

いのち・未来 うべ 市民学習会

講演 「火山と原発」

講師 (元) 山口大学教授 ^{ながお}永尾 ^{たかし}隆志 先生

とき 2015年1月16日(金) 19:00～

場所 宇部市常盤町 1-1-9 宇部緑橋教会 2F

[講演概要]

昨年から今年にかけて日本のいくつかの火山の活動が活発になった。2011年3月11日の東北地方太平洋沖地震の影響であるという研究者もいる。20世紀以降に起きた5回のM9以上の巨大地震の後には例外なく火山が噴火している。まず、巨大地震と火山噴火の関係について紹介する。さらに、川内原発の再稼働に関して問題になっている巨大噴火(破局噴火)について紹介する。最後に、山口県北部に分布する活火山・阿武火山群で起こった大規模な噴火について紹介する。



[永尾先生紹介]

1948年長崎県生まれ。
熊本大学、東京教育大学、北海道大学で
地球科学を学ぶ。理学博士(北海道大学)。
2013年3月 山口大学を定年退職。

現在は、環境防災総合政策研究機構 特別研究員。所属学会は日本地質学会、日本火山学会、日本鉱物科学会。専門は火山学、岩石学、地質学。主な研究内容は山口県の火山形成史とマグマの成因、西南日本の新生代火山活動とマグマプロセス。著書には「地学事典」(共著)、「オープンエア・ミュージアム 山口の火山」、「同位体岩石学」(共著)、「萩ものがたり 萩の火山のひみつ」など。



桜島噴火(インターネット画像転載)